

項 目	8 産業政策について (2) スタートアップ支援
答弁者	知事
質問要旨	<p>スタートアップ支援は東名阪、福岡、仙台など様々な地域で取り組んでいるが、ベンチャーキャピタルとのコラボレーションのような浜松の取組は、地方都市として特筆すべきものと評価している。金融機関との連携も非常に有効に機能している。</p> <p>一方、日本社会全体から見ると、まだスタートアップへの理解が十分進んでいない。現在、県内産業を支える企業群も、はじめはベンチャー、スタートアップだったことを考えると、30年、50年先の静岡県を考えたとき、スタートアップ育成は非常に重要な施策となる。</p> <p>選挙戦で知事は、県内各地で取り組むことを述べ、公約にも「スタートアップ施策を加速し、スタートアップ先進県に」を掲げていた。昨年9月、県はスタートアップ支援戦略を策定し、KPIとして、5年後に「250社以上」や「資金調達額 260 億円以上」などを掲げているが、先進県を目指していくに当たり、今後のスタートアップ支援をどう進めていくか、所見を伺う。</p>

### <答弁内容>

次に、産業政策についてのうち、スタートアップ支援についてでございます。

私が浜松市長時代に最も力を入れた施策の一つが、スタートアップ支援であります。平成28年に「浜松バレー構想」を提唱し、自治体初となるベンチャーキャピタルと連携した資金調達のサポートや、スタートアップが行う実証実験への支援、さらには、「浜松ベンチャー連合」というコミュニティの立ち上げなど、数多くの先進的な取組にチャレンジしてまいりました。

県におきましても、これまで、大学発ベンチャーの創出・育成や「TECH BEAT Shizuoka」の継続開催などの取組を進めてまいりましたが、昨年9月に、具体的方針を明確化したスタートアップ支援戦略を策定したところであります。この戦略に基づき、昨年度はワンストップ相談窓口や、スタートアップ支援ネットワーク「ふじのくに“SEAs”」を創設いたしました。今年度は、県内実証フィールドを活用した伴走支援や、高校生を対象とした起業体感プログラムなど、新しい取組も行う予定であります。

こうした取組に加え、今後、更に数多くのスタートアップの創出・育成と誘致を目指して、私が浜松市で実践してきた施策も取り入れながら、支援策を充実をさせ、全県への展開を図ってまいります。特に、東部・伊豆地域は、首都圏からのアクセスも良く、美しい自然や、温泉、食材、歴史・文化などの地域資源も豊富なことから、地域特性を最大限に活かし、スピード感をもって対応してまいります。

また、今月から、東京虎ノ門にある日本最大級のスタートアップ拠点「CIC Tokyo」に職員を駐在させており、この拠点をフル活用し、私自身が先頭に立って首都圏のスタートアップを呼び込んでまいります。

スタートアップは、経済成長の原動力となるイノベーションを生み出し、地域経済の活性化や雇用創出に大きな役割を果たすとともに、地域課題の解決にも貢献し得る存在であります。今後、県議会の皆様のお考えも伺いながら、より効果的で先進的な施策を講じ、スタートアップ先進県を目指してまいります。